



収録台本

2021年7月前半号



TIME	内容
	オープニングタイトル
	<p>田村： お元気ですか！市民のみなさん。麒麟の田村裕です。</p> <p>廣川： 廣川陽子です。 田村さん、7月に入りました。暑いですね。</p> <p>田村： 暑いですね。順調に暑いんですね。</p> <p>廣川： 夏だな～と感じることも増えてきましたけど、夏にやりたいこととかありますか？</p> <p>田村： オリンピックがありますから、何らかの生観戦であるとか、オリンピックらしいものはせっかくですから感じたいですけどね。</p> <p>廣川： 明るい話題ですからね。私たちも存分に楽しみたいですね。</p> <p>田村： やるようになったら感染対策しっかりして、とことん楽しみましょうよ。</p> <p>廣川： じゃあ、オリンピックが楽しみだと。</p> <p>田村： そうですね。やっぱり楽しみですね。</p> <p>廣川： 7月1日現在、大阪府には「まん延防止等重点措置」が発出されていますので、なかなか「どこかに行こう！」っていうのは難しい状況ではありますけど、お家の中でいろいろ工夫しながら楽しめたらいいですね。 そして、7月7日は七夕ということで短冊に願いを書きました、私たちも。田村さん、発表してもらっていいですか？</p>

田村：

いいですか？ 今、単純にお腹が痛くてですね、「お腹痛いの治れ」っていうね。

廣川：

大丈夫ですか！？ 今！？

田村：

昨日の昼くらいからお腹ずっと痛いねんなあ。

廣川：

ちょっと心配です。なんかあったら言ってくださいね。

田村：

「おらへんな」と思ったらトイレ行ってると思ってください。
廣川さんは？

廣川：

私も書きました。じゃじゃ～ん。腹筋！

田村：

いやいや、シンプル！そして、2人ともお腹にまつわること！

廣川：

激弱なんですよ、腹筋が。全然出来ないの、ちょっとでも回数できるようになればいいなということで、腹筋。

田村：

意外と女性多いですもんね、腹筋できない方ね。

廣川：

ちょっと頑張りたいなと思っています。

田村：

この夏、腹筋を。お願いいたします。

廣川：

ステイホームも2年目を迎えましたけど、このようにアイデア次第で楽しいお家時間を過ごせますよね。

田村：

ずっと家にいるのも違和感なくなってきたし、子どもたちも慣れてきたし、
その中で出来ることも見つかってきたし、僕もめっちゃくちゃ料理してるし。

廣川：

見てますよ、動画。チェックしてます。

田村：

ありがとうございます。YouTube でね。
「おんぶ飯」という企画を頑張ってます。
子どもを背中に背負いながら、昭和感丸出し。
あやしなから男がご飯を作るという。

廣川：

私はあの動画の大ファンで、今日もスタジオに到着してすぐに
「田村さん、いいですか？動画の感想言いたいんですけど」って。

田村：

頑張って作ってるし、頑張って料理もしてるんで。

廣川：

ぜひみなさん、「おんぶ飯」もチェックしてみてください。

田村：

お願いいたします。

廣川：

それでは特集にまいりましょうか。
今回からアンコール放送ではなく、新しい内容をお届けします。
今回は、市役所地下にある「あの場所」についてです。

特集「親子二人三脚！吹田市役所にあるお弁当屋さん」

ナレーション

吹田市役所の地下1階の角に「ゆめちか」というあるスペースがあります。ここは飲食店開業をめざす人が吹田市から格安の賃料で店舗を借り、夢の実現に向けてチャレンジできる場所なんです。2014年から始まったこの制度。これまで6店舗がここでチャレンジし、巣立っていきました。今年7店舗目となるゆめちかチャレンジの店主は小田亜里紗（おだありさ）さん。

亜里紗さん

いつも家で食べているご飯を母に作ってもらって、それをお弁当の形式で提供するお店です。

ナレーション

お弁当は亜里紗さんの母 新子（しんこ）さんが全て手作りで提供しています。

亜里紗さん

どれもおいしいです。私は大好きですね。皆さんに食べていただきたいなと思って。

ナレーション

実は亜里紗さん、元パティシエなんです。プロ級のお手製スイーツがずらり。

亜里紗さん

いきなり（お店を）出すよりはお試しな形になるんですけど、そういうので経験を積んでから構想も練りながら出来たらいいかなと思って応募しました。私、吹田生まれ吹田育ちなんですけど、吹田に知り合いも多いですし、吹田市役所っていうところがみんなわかりやすいので、来ていただけるかなと思って、この場所がいいなと思いました。

ナレーション

今回は親子二人三脚で飲食店へのチャレンジを始めた小田さん親子を取材しました。

タイトル：「親子二人三脚！吹田市役所にあるお弁当屋さん」

小田さん親子

おはようございます。

ナレーション

出勤は朝9時

店の名前は「おうちごはんとおやつFu! (フー!)」。ちょっと変わった店名ですが…

亜里紗さん

姉がいるんですけど、姉が母の料理を食べる時に、見た時に「Fu~!」ってテンションを上げて言うのでその音が良くて可愛いなと思ってその名前をつけました。皆さんに食べてもらった時においしいと思って、そういつてもらえるようなお店がいいと思って名前をつけました。

ナレーション

オープンは11時半。開店までのおよそ2時間半で全ての料理を準備します。

母 新子さん

今日はいつもお家で作っているちょっと甘めのてりやきハンバーグがメインになっています。あとは、私のふるさとである長崎の方から送ってくる切り干し大根と母が作ってくれるサツマイモを甘辛く煮てます。我が家の家庭の味も食べてほしいなと言う感じで作っています。

ナレーション

そのほかにも日替わり弁当をおかずだけにしたおかずのみ弁当や甘辛く煮た鶏そぼろが入った三色丼などメニューはどれも新子さんの家庭の味です。

亜里紗さん

母がいろんなものを作ってくれるんですけど、なんでもおいしいです。

ナレーション

お昼前には完成したお弁当が次々と店頭に並びます。

いよいよお店がオープンしました。

オープンとともにお客さんが続々と並び始めます。

次々にやってくるお客さんに亜里紗さんも大忙し。

お客さん1

今日は日替わり弁当をいただきました。

おいしい味がして食べ応えもあってよかったです。

お客さん2

どんぶりをいただきました。たまごとそぼろのバランスが良くて、ちょうどお腹にいい感じ。

お客さん3

結構ボリュームがあってお腹いっぱいになりました。すごくおいしかったです。

ナレーション

さらにもう一つ 店内限定20食だけ出されているのが関西では珍しい五島うどん。五島うどんに欠かせないアゴだしは新子さんの自家製です。実はこちらのうどん、新子さんのいところが営む製麺所から仕入れているんです。

母 新子さん

私が長崎の五島列島の出身なので、小さい時からずっと食べてきたものなので大阪の方にも食べていただきたいなと思って。おうどんは細麺で、伸びないってというのが特徴なんですけど、伸びないので煮崩れがしない。

ナレーション

1988年、亜里紗さんは3人兄弟の真ん中として吹田市で生まれました。幼い頃から母の作る料理が大好きだった亜里紗さん。実は出店を決めた理由の一つが新子さんの料理でした。

亜里紗さん

昔からずっと私は母の料理が大好きですし、母自身も料理を振る舞うとかが好きなので、見ていて楽しそうやなっているのもあってお店をしたらもっと楽しくできるんじゃないかなってというのがあって母とやろうと思いました。

母 新子さん

娘の夢なので一緒に応援してやっていこうかなと思いました。そうですねえ...まあ、親なので。

ナレーション

亜里紗さんが得意なスイーツはパティシエ時代に腕をふるったシフォンケーキ。

亜里紗さん

パティシエをやっていた時によくシフォンケーキを定番みたいな形で焼いていて。前の職場の時とは配合は変えているんですけど、フワフワ感はあるようにギリギリのところ狙ってるんでオープンに慣れていないこともあって、まだちょっと上手くいかないこともあるんですけど。

ナレーション

それでもおいしいケーキを完成させようと日々試行錯誤を繰り返しています。こちらがパティシエ仕込みのふわふわシフォンケーキ。元プロのパティシエが出す絶品スイーツの味にお客さんは？

お客さん1

すごく食感がふわふわで美味しくて、クリームもちょうどいい甘さですごくおいしかったです。食堂も甘いものがないので、こういったところで食後にちょっとしたデザートが食べられるというのはすごく嬉しいです。

お客さん2

すごくおいしかったです。お昼を食べた後に甘いものも食べたい時にすぐ食べられるのがすごいです。

ナレーション

今では、美味しいスイーツを作るようになった亜里紗さん。
彼女がパティシエをめざすきっかけは、母 新子さんの存在だったのです。

亜里紗さん

基本何でも作れるので、母が。それで私もやりたいなって思った時にお菓子の方が私にとっては魅力的で、それでパティシエになろうと思って専門学校に通いまして、そのままパティシエを何年かやったんですけど。

ナレーション

そんな娘の夢を支えたいと思う気持ちには子を想う母親としてのある想いがありました。

母 新子さん

幼い頃はお姉ちゃんと弟がいるんですけど、この子は真ん中なので上と下に我慢をしていたと思うんですね。だから今、一緒にずっと二人でいるんですけど。遅い子育て。親だったらずっとそういう想いがあると思うんですね。いつまでも子供だって。歳はもういい歳なんですけど。

亜里紗さん

もう言わんでいい。

ナレーション

その言葉を聞いた亜里紗さんは？

亜里紗さん

働いてもらおうと思います。後30年くらいは頑張ってもらおうかなと。

母 新子さん

30年はちょっと無理かな…。

ナレーション

4月から始まったゆめちかチャレンジ。今後の展望は？

亜里紗さん

SNS あんまり自分でしてないのでまだ全然できないんですけど、その辺を勉強しつつ、(お弁当を) 食べてもらった方にアンケートをとって、それを反映していけたらいいなと思っています。

ナレーション

夢に向かって走り出した娘とそれを支える母。
大きな目標に向かって親子二人三脚で走り続けます。

亜里紗さん

母の手料理を食べてもらいたいので、たくさんの人に来てもらって、良い形で出店できたらいいなと思っています。

母 新子さん

私も一人ではできないと思うので、お互いに出来るところと出来ないところを補って、二人で力を合わせて、じゃないとやっていけないと思ってるので体に気をつけて頑張りたいと思います。

TIME	内容
	<p>田村： おもしろいね。</p> <p>廣川： 良い笑顔でしたね、2人とも。</p> <p>田村： 良い関係やな。大変なことはもちろん多いでしょうし、今は実験段階ですから、これから本格的な苦悩はあるんでしょうけど、親子関係として非常に良いバランスで良い関係ですよ。それが素晴らしいなと思いましたね。</p> <p>廣川： お母さんの料理が大好きで、それをみんなに食べてもらいたいっておっしゃってたじゃないですか、亜理紗さんが。その言葉ってお母さんにとって、ものすごい嬉しいですよ。</p> <p>田村： 嬉しいでしょうし、頑張るパワーになるし、結果それが老けへんとか健康とか、そんなんに全て繋がるやろうから、最高のコミュニケーションのかたちかもね。</p> <p>廣川： そうかもしれないですね。30年は頑張っしてほしいって亜理紗さんもおっしゃってましたけど。</p> <p>田村： 何年やらすねん！ってのは、ちょっと思いましたけど。</p> <p>廣川： 長く一緒に頑張っていたきたいですよ。</p> <p>田村： もともと亜理紗さんがパティシエ始めたのも、お母さんの料理の影響やし、やっぱり母親の料理って偉大だなんていうのは改めて感じましたね。</p> <p>廣川： そして、店名が「Fu!」でしたけど、それはお姉さんの口癖からって。</p>

田村：

写真が出てきた時、「あの人がFu～！の人や！」って思いましたもんね。独特の響き、店名としては。でも面白いし、気持ち伝わるし、良いですよ。しかも、あの五島うどん、旨いのよね。細いのにコシがあって、アゴだしも旨いしね。

廣川：

美味しいアゴだと、美味しい五島うどんが。

田村：

五島うどん、あれマジで旨いからね。食べたいわ。

廣川：

ぜひ食べに行きたいなと思います。
今回ご紹介した「おうちごはんとおやつ Fu（フー）！」の営業時間は、月曜～金曜日の午前11時30分から午後4時まで。
土曜、日曜、祝日はお休みです。
来年2月中旬ごろまでお店はされているそうですのでぜひ気になる方はお早めにお立ち寄りください。

田村：

絶対、美味しいぞ！Fu～！

廣川：

以上、特集でした。

ワンポイント手話 「けがをしました」

TIME	映像	内容
	<p data-bbox="272 349 424 387">トリキリ①</p> <p data-bbox="272 636 424 674">トリキリ②</p> <p data-bbox="272 1547 400 1585">トリキリ③</p>	<p data-bbox="467 210 1015 241">吹田市からのお知らせ（コロナ関連情報）</p> <p data-bbox="467 255 799 291"><u>＜廣川 ナレーション＞</u></p> <p data-bbox="467 351 1385 528"> 新型コロナウイルス感染対策の徹底をお願いします。 不要・不急の外出は控えてください。 感染対策が徹底されていない飲食店等の利用を控えてください。 マスクの着用、こまめな手洗いなど、感染対策をお願いします。 </p> <p data-bbox="467 640 1222 768"> 新型コロナウイルスワクチンに関するお知らせです。 以下の人を対象とした 集団接種の予約受付を 7月6日(火) 午前9時から開始します。 </p> <p data-bbox="467 784 1206 963"> ① 高齢者 ② 60～64歳の人 ③ 基礎疾患のある人と高齢者施設等従事者で、 事前申請により接種券が届いている人 </p> <p data-bbox="467 1023 1481 1296"> 市コールセンターにお電話いただくか、Webサイトで予約が可能です。 市コールセンターの電話番号は、フリーダイヤル 0120-210-750 受付時間は午前9時～午後8時まで。 土曜・日曜・祝日も対応しています。 予約枠が定員に達し次第、受付終了となります。 終了した場合は、市ホームページやSNSなどでお知らせします。 </p> <p data-bbox="467 1357 1481 1440"> 市コールセンターでは、接種予約のほかに、新型コロナウイルスワクチン接種に関するご相談も受け付けています。 </p> <p data-bbox="467 1547 1461 1630"> 国や府が実施する大規模接種会場でも接種を受けることができます。 詳しくは防衛省や大阪府のホームページをご確認ください。 </p> <p data-bbox="467 1691 1481 1774"> かかりつけ医や地域の医療機関で接種を受ける個別接種を希望される人は、各医療機関に直接お問い合わせください。 </p>

TIME	映像	内容
	<p data-bbox="268 206 395 246">トリキリ④</p> <p data-bbox="268 586 395 627">トリキリ⑤</p> <p data-bbox="268 1209 395 1249">トリキリ⑥</p>	<p data-bbox="507 206 1289 336">予約した日に行けなくなった場合や、集団接種、個別接種、また国や府の大規模接種ともに重複して予約した人は、事前にキャンセルの連絡をお願いします。</p> <p data-bbox="507 398 1484 528">市の集団接種会場では、キャンセル分の当日予約や当日接種はありません。余剰分は接種従事者や、できるだけ早く接種する必要のある職員に接種します。</p> <p data-bbox="507 591 1407 721">高齢者以外の人には以下の予定で接種券の発送を行います。なお、大量に接種券を発送するため、接種券がお手元に届くまでは、数日から1週間程度要する見込みです。</p> <p data-bbox="507 784 1107 864">基礎疾患のある人と高齢者施設等従事者で、6月22日までに申請した人は 7月2日に</p> <p data-bbox="507 927 1276 1008">50～59歳までの人、保育・学校教育施設従事者、消防従事者、一般廃棄物処理事業従事者は 7月12日に</p> <p data-bbox="507 1070 1445 1106">12～49歳までの人は 7月中旬に全対象者にそれぞれ発送します。</p> <p data-bbox="507 1214 1369 1487">なお、国や府が実施する大規模接種会場で接種を希望する人への接種券の先行受付を6月22日、6月28日に実施し、第3回目を7月5日(月)正午から開始します。電子申込システムによる申請のみの受け付けです。定員に達し次第、受付終了となります。詳しくは市のホームページをご確認ください。</p>

TIME	内容
<h2>吹田でSDGs！ #010 KAPOK KNOT</h2>	
	<p>田村： 続いては、吹田でSDGs！（エスディージーズ）</p> <p>（フライングタイトル）</p> <p>廣川： このコーナーは、企業や団体などが行っているSDGsの取り組みを紹介していくコーナーです。今回もキリン君が、田村さんも良く知るあの場所へ行っていますよ。</p>

TIME	内容
	<p>麒麟君： こんにちは！麒麟君です。どう？ 田村さん、僕の一張羅？似合ってる？ 今回は、吹田発のアパレルブランドの取組を紹介するよ。</p> <p>ナレーション： 今回麒麟君が向かったのは、関大前にあるフタバボウル。 ボーリング場にアパレルブランドって、どういうこと？</p> <p>麒麟君： こんにちは～！ よろしくお願ひします。</p> <p>深井さん： こんにちは！麒麟君、いらっしやい。どうぞ。</p> <p>麒麟君： 失礼します～。うわ～！オシャレなオフィスだね～。</p> <p>深井さん： ありがとうございます。私たちはアパレルの企業ですので。 実はボーリング場はうちのグループ会社なんですよね。</p> <p>麒麟君： へえ～！そうなんだ！</p> <p>ナレーション： そう、麒麟君がお邪魔しているのは老舗アパレル企業「双葉商事株式会社」の 本部。田村さんも良く知るフタバボウルは、同社のグループ企業なんです。 そして、深井さんはその老舗企業の4代目なんです。</p> <p>麒麟君： 深井さん、アパレル業界とSDGsってどう関係あるの？</p> <p>深井さん： 麒麟君、アパレル業界にとってSDGsはとっても関係あるんですよ。 今回はどう関係しているのか紹介しますね。 アパレル業界は石油産業に次ぐ世界で二番目の「汚染産業」と言われています。 ファストファッションの台頭で大量生産、大量廃棄っていうのが当たり前の 世の中になってきてしまったんですけど、値段の安い服って魅力的だと 思うんですよ。だから、なかなか消費者としても変わっていけない。 ファストファッションの値段の安さの1つの要因っていうのが、</p>

生産者へのしわ寄せってというのがあって思っています。

私、実際にカンボジアで物作りをしてたんですけど、カンボジアって5年で最低賃金が2倍になっているんです。その賃金を賄おうと思った時に過重労働や児童労働が問題になった。ファストファッションで安いものを作ろうと思うと、やはりどこかに負荷をかけていかないと成り立たないってというのが、現状の世の中です。

麒麟君：

アパレル業界って華やかなイメージがあったけど、とても環境に負荷をかけていたんだね。

ナレーション：

そんな中、深井さんは「カポック」という素材に出会います。

深井さん：

カポックというのは木の実なんです。木の実の中に非常に軽くて暖かい綿が詰まっている。僕の身長以上、2mくらいカポックが積み重なっている所で、そこに手を突っ込んだらめっちゃくちゃ軽くて暖かくて。

みなさんがよくTシャツとかで着られる Cotton の8分の1の軽さ。

その綿を使って服を作ろうと考えました。本当に感動しましたね。

「こんなものが世の中にあるんだ！」と。本当に驚きました。

ナレーション：

カポックには素材として様々な機能があるんです。

深井さん：

カポックは自生力が非常に強いので、水や肥料を多く使わなくてもいいってというのがあります。従来だったらダウン、羽毛を使ったと思うんですけど、羽毛は動物なのでCO₂を出す方ですよ。でもカポックは植物なので、CO₂を吸収する方なんです。地球にも優しいというのはそういったところですね。

麒麟君：

カポックってすごいね！

これはSDGs 目標13番「気候変動に具体的な対策を」と

15番「陸の豊かさを守ろう」に関係する内容だね。

ナレーション：

しかし、このカポックの製品化には大きな課題がありました。

深井さん：

カポックは繊維が非常に短くて軽いつて特徴があります。その繊維の短さから糸に出来ないっていうのが非常に大きな課題としてありました。ようやく糸に出来たと思っても、洗濯したら抜け落ちてしまうとか、そういった課題が生まれたため、何度も何度も数十年もカポックの線維化というのはトライされていたんですけど、糸として使うことは出来ませんでした。私は前職 大手の繊維メーカー旭化成に居まして、父親がカシミア、母親がウールだったり布団だったりということをやっている会社だったんですね。そういったノウハウをいろんなところを詰め込んで糸じゃなくてシートにしようという発想の転換で、なんとか商品化することが出来ました。

ナレーション：

こうしてカポックを使ったアパレルブランド「カポックノット」を立ち上げた深井さん。深井さんは、商品が手元に届くまでのプロセスを大切にしています。

深井さん：

「カポックノット」というブランドのコンセプトを「Farm to Fashion」というコンセプトにしています。カポックの木の実を買い付けるにもインドネシアの現地のカポック農家の所まで行って直接話をして、商品を作るにあたって縫製工場へ行って「こういう商品を一緒に作りましょう」というふうな話をしています。さらに売り上げの一部から植樹活動に繋げることで循環するブランドにしていきたい。そういう意味を込めて「Farm to Fashion」という言葉を使ってブランドをお届けしています。

キリン君：

みんないい笑顔だね。これはSDGs 目標8番「働きがいも経済成長も」に関係する取り組みだね。

深井さん：

「カポックノット」は、機能、デザイン、サステナブル、この3つを兼ね揃えたブランドとしてしっかりと世の中に発信していきたいと思っています。それをしっかりとお届けしていくことで、これまでサステナブルと縁遠かった、なかなか参加できなかった人たちに対して「こんな簡単にサステナブルに参加できるんだ」って思ってもらって、サステナブルへの参加コストを下げるってことをやりたいと思っています。それをこの吹田からしっかりと発信していくブランドとして頑張っていけたらなと思っています。

キリン君：

「KAPOK KNOT」の取り組みは、生産者も消費者も皆ハッピーになる内容だったね。今回はいろいろ教えていただき、ありがとうございました。

TIME	内容
	田村： すごいですね。
	廣川： そのカポックなのですが、今回キリン君が借りてきてくれたんです。
	田村： 本物？
	廣川： はい。本物です。
	田村： へえ～、すげ～！
	廣川： 田村さん、お渡ししますので触ってみてください。
	田村： これが木に生ってるの？ 割ったら中からフカフカの綿が出てくるの？
	廣川： 細かいですよ。
	田村： 確かに細かっ！軽っ！
	廣川： この綿を使ってシート状にしたものを使ったコートをご用意しました。 暖かいかどうか試してみてください。
	田村： これ、めちゃくちゃ軽いですよ。この感じのコートって、それなりの重さがありますけど、あり得へんくらい軽い。
	廣川： おっ！…サッカーボールが落ちましたけど。 似合う！！良いですね。サイズもピッタリですか？ 田村さんくらい大きくても全然。

田村：

ええやん。頂戴。

廣川：

カッコいい！ちょっとクルッと回ってくださいよ。

田村：

いいやん、これ。流行りのラインで、ロングコートで、なんかあった時
パッと1枚羽織ればいから、めっちゃ軽いねんけど。

廣川：

私もすごい欲しくなりました。

田村：

ボタン大きくて可愛いし。

廣川：

確かに。

田村：

あっ、なるほど。前閉めたら、めっちゃ暖かい。

廣川：

風も通さないし。もちろん女性用もあるし、色違いもあったりして、
ご夫婦で着たりすることも出来ますし。

田村：

あ、いいやん！奥さんとお揃いにしようかな。

廣川：

なんといっても吹田発のブランドを着てるっていうのが、
また良いじゃないですか。

田村：

それがいいやんね。

廣川：

ロゴもカッコいいですよ。

田村：

可愛いわ～。しかも細かいところまで。何この小さいポケット。
めっちゃ可愛いねんけど。これは素敵。

廣川：

コート以外にもお家用のブランケットとか、お家用の羽織というのもあるので
これから冷房対策にも使えるかなと。

田村：

「カポックノット」さんね。

廣川：

「カポックノット」はオンラインで販売しています。
詳しくは「カポックノット」で検索してみてください。
以上、「吹田でSDGs」のコーナーでした。

田村：

それではエンディングです。本日もありがとうございました。
また次回お会いしましょう、さようなら～。